（大正十二年七月十七日第三種郵便物認可）

磐城經濟新報

発行日五日、廿日（二回）
編輯兼印刷人　鈴木昌雄
発行人
福島縣石城郡平町材木町廿三番地
発行所　磐城經濟新報社
廣告料（五號十四字詰一行廿錢）場所指定拾錢增
朝聞定價（一部十錢月二十錢）（一年貳圓四十錢）

會社觀察の標準

（七）

故に會社の營業狀態を調査仕樣とするなら、配當率を見ずに利益率を計算せねばならぬと之れは會社の營業狀態を調査せんとする者の言として至當な見方である、併し利益配當丈けを見て凡そ其會社の實質を考慮すると云ふ事も確かに一の有力な而して便利な見方であると云ふ事も忘れてはならぬ、何故ならば何期にも亘つて相當の利益配當を繼續して行けると云ふ事は確かに其會社の營業が儲かりつゝある事の證左であるからである

（八）

利益率や配當率を見る外、會社の有望か否かを判斷するに當つては事業の性質をも精査する必要があるが、如何なる事業が有望で如何なる事業が有望ならざるか等の問題は其時期によつても違うし、又同種類の物品を製造する會社の中であつても其品質、販路等の關係によつて樣樣であるから、爰に概括的の基準を定める事は無論困難とせねばならぬ、されば其會社の基礎が如何に鞏固であるか、會社の營業は果して順調に行はれてゐるかどうかと云ふ如き、之れ等の問題を解決するには、先づ會社の現況を表示する處の營業報告書に依つて調査するより他に仕方が無い事になるのである。

（九）

吾人が或る會社の營業報告書を手にした時、第一に考へねばならぬ事は、先づ其營業報告書の主要な部分が總て正直に書かれてゐるものとして、該會社の營業成績は果して良好であるのかどうか各勘定科目の整理が會計學上合理的に取扱はれてゐるかどうかと云ふ事を調べて見ねばならぬ、併しもう一歩進んで特に其會社の現實を調査する必要のある場合に於ては到底それだけでは滿足出來ない。

（一〇）

如何となれば、果して其營業報告書が正直に書かれてゐるものであるにせよ換言すれば只ベンの先で貸借對照表の締くゝり丈けは帳合が合せてあつても實は其內容が不正直に記されてゐるもので無いかと云ふ事に着眼して見ねばならぬので有る、實際は五千圓の値打しか無い工場を一萬圓と評價して有つたり、滯貸準備金を以て處分するか、欠損として取扱ふべき明らかな貸倒れを、尙回收し得べきものと看做して未收入金として計上する如き、只帳面づら計りを合せて置く、俗に云ふ勘定あつて錢足らずと云つた彌縫策が講せられてあるのでは無いかと謂ふ事を調べて見ねばならぬのである、爰に於てか決算報告書の見方も甚だ困難なりと云はざるを得ない。

（一一）

多くの會社に於て決算報告書として印刷し、株主に配布されるものに依つて利益率及び配當率を算出して會社の營業狀態を考察せねばならぬ事に付ては大署前記の如くであるが、右に云ふ會社の決算報告には尙會社の事業狀態を調査する上に於て必要な事が幾らも記してある、之れも會社に依つて多少精粗の相違はあるけれど、先づ冒頭には其期間中に起つた營業狀態を署記して次期に對する方針の一斑を示し、次で庶務事項としては其期間中に起つた役員の更迭臨時總會の決議、官廳から許可になつた事項等あらゆる重要な記事を記載し、次で會計の狀態を表示してゐるのが普通の形式である事諸君の熟知せらるゝ如くである、而して此處に記す會計事項の報告に就ては我が商法は左の如き規定を設けて其作成を强要してゐるのである。

第百九十條　取締役は定期總會の當日より一週間前に左の書類を監査役に提出することを要す

一、財產目錄
二、貸借對照表
三、營業報告書
四、準備金及び利息の配當に關する議案

之れに付て尙くわしく手續上の事を記せば、取締役は前記の書類を監査役の報告書を求め定時總會開會日前迄に本店に備へ置き、定時總會開會の當日之れを總會に提出して承認を經た上で貸借對照表を定欵に定めた新聞紙上に公告せねばならぬのである。（未完）

明年九月施行される
本縣議選擧費用
平均二千六百十七圓余

本縣に於ける明年九月施行さるべき縣會議員の選擧は府縣制の改正によつて自然その運動費も制限されることになつてゐる、即ち本縣の平均運動費は二千六百十七圓六十錢であるが之を各郡市別に示すと左の通りで表面上はこれ以上使用してならない事になつてゐるのであるが、果して之が實行されるか否かは疑問である。

郡市名	運動費
信夫	三、〇一六圓
伊達	二、六四〇圓
安達	二、六六九
積	三、四五三
安瀨	二、二二〇
岩	三、三八二
南會津	三、〇二〇
北會津	二、四二九
耶麻	二、〇三八
河沼	四、〇七七
大沼	二、五五〇
西白河	三、三九八
石田	二、八八九
石城	二、四〇一
双葉	二、四二五
相馬	二、四三二
若松	二、八四〇
福島	二、五九二
郡山	二、九三六

右の選擧費用は選擧人名簿確定日に於て登錄せられたる選擧人の總數を選擧區內の議員の定數で割それを四十錢に乘じたもので運動費は大沼郡二十名を最大とし他は全部十五名である。

四ツ倉電氣
今期成績
配當一割二分

四倉町四倉電氣會社では去る十日重役會を開き本年下半期の利益金處分案を決定し來る二十八日總會を開き承認を求める事になつたが今期の成績は左の如し

▲當期利益金	一六、七二一円八一
內固定資產償却	二、五〇〇円
	一四、二二一円八一
▲差引	八八八円一六
▲前期繰越金	一五、一〇九円九七
▲合計	一、四〇〇円
法定積立金	
準備積立金	一、〇〇〇円
株主配當金（年一割二分）	九、七〇五円
重役賞與金	一、一〇〇円
退職給與扶助基金	五〇〇円
後期繰越金	一、二五九円九七

乾繭倉庫
平驛前に建設

石城郡販賣利用組合では常磐線四倉驛前に繭市場を設け乾燥設備までしたがこの程役員會を開き協議の結果乾繭設備を一層有効にするため明春までに平驛前へ乾繭倉庫を建設に內定目下出資者の增加をはかり石城郡駐在尾形農林主事が各町村へ出張勸誘中で廿九日農務商省より原簫糸課事務官來平販賣組合視察を機とし右設備に對する補助の陳情をなした。

木炭生產高
移出額千四百萬貫

本縣本年度の木炭生產並に需給調査はこの程終了農林省に報告されたが、縣內消費見込額約三千萬貫でそれから縣外よりの移出見込額約百十萬貫、縣外移出見込額約千四百萬貫であつて此の生產需給關係は殆ど前年に變化なく移出に於て稍々減少する見込であり尙ほ生產費は一貫匁に付き原木代生產炭十錢乃至二十錢、燒賃十錢內外荷造費二錢又は三錢位で運搬費は一里一錢乃至一錢五厘で前年と同樣であるといふが、本年一月より十二月までの生產豫想は二千六百萬七百九十九貫で前年の二千六百二十四萬八百七十三貫の減であるが尙ほ十六年一月より四月までの生產豫想七百六十一萬三千六百五十四貫で前年同期の七百三十五萬八千六百三十貫に比し二十四萬五千二十四貫であるから九百五十貫計りの增になつてゐる。

募集

外交手腕ある奮鬪的青年を募集す

磐城經濟新報社

新聞の新聞【二十】

□

福島で發行する四新聞の中で新しいだけに、一寸手にして感じのいゝのは福毎だらう。民報や、民友は一寸重苦るしい感じを與へる、編輯も民報や民友は記述やニュースの量に重きを置いて質を閑却してゐる傾きがある、此の點に於て福毎の編輯に輕妙な所がある、感じのいゝといふのは此の點であらう。

□

俺は新聞記者だ……といふ誇りをもてないのは必ずしも記者自身の眞價を語るものではない、社會に理解がないのだ「新聞記者」一口にいかにも、ろくなものでないやうに毛嫌ひする人や、敬遠する人が比較的地方に多いのだから閉口する、自らの足元を見て、記者たることの誇りを覺ゆる人が一人でも多くなつてほしいと思ふ、ヒガミ心がなくなつてほしいと思ふ。

□

どつちにしろ平には新聞が多い、諸根君の主宰した新いわきは十二月限りで廢刊して一月より「鄕土文化」といふ月刊雜誌を出すそうである、諸根君の立場からそうすることの賢明であることを思ふ、鄕土の爲め一働きしてほしい。

□

赤椀色魔の主人公遂に告訴を取下げたそうだ、いゝことだが、新聞社を相手にして告訴なんかするよりは其ひまで自己の淸淨たらんことを願求した方が、餘程りこうだ。

□

嘗て本欄に於て勞働運動の盛んになつてきた石城に於て新聞記者にして理解した批判を與へ是れをリーダーたる人幾人あるであらうと書いた事があつた、所が半谷國民子から故障らしい質問を受けるには少し面喰つた。

東洋の權威
京都市岡崎北御所町
京染店
電話二五七番
吉村製綿店
店主　吉村安次郎
電話二五七番
鈴木勝彌
佐竹菊雄
第二病室增設—入院隨時
屋店
◎冗費節約
鈴木昌雄
飾棚簞笥

重要視されてきた漁業勞働問題

當局で法規立案中

我國でも近來遠洋漁業トロール漁業工船、カニ漁業等の**發展**著しきものがあり漸くこれ等大型漁船乘組の漁業勞働者に關する諸問題が注目せらるゝに至つて居るに拘らずいまだ漁業勞働に關する見るべき施設もない有樣であるので農林省では目下漁業勞働に關する諸般の調査を急いで居る。

元來漁業勞働は沿岸漁業といへどもその行はれる地方に從ひあるひは漁業の種類に從つて種々複雜なる狀況にあるので到底工場勞働の如く簡單に取扱ひ難いとされて居るが殊にカニ工船の如き極く最近に出來たものであり、漁獲とカン詰製造を兼ね行ふものであるから工場設備を有するもも論工場法は直ちに適用し難い等の事情もあるので農林省としては漁業勞働に關し**特殊**なる勞働法規を制定する必要を痛感調査完了の上はその立案研究に着手することになつて居る。尚漁船乘組の海員勞働問題が國際會議の結果右の如く一般海員勞働問題と切りはなされたのは要するに漁船の特殊性を認めこれが乘組員の勞働も一般船舶乘組海員の勞働と同一に律すべからざるを理由とするものであるが、これがため今後漁船員に關する諸問題は自然漁業を主管する農林省にれいて取扱はるゝことゝなるべく延いては**多年**農林、遞信兩省間の懸案となつて居る漁船法の所管問題の如きも議論を拔いて事實上農林省所管として自然解決の途をとるものと見られて居る。

本郡の馬匹成績

石城郡内に於ける馬匹一ヶ年の生産數は一千三百頭にして此馬匹二歲當時の價格は總額九萬五千余圓にして内他縣又は他郡に移出さるゝもの八百頭なるが本郡の馬匹は他縣郡の馬匹に比較し四脚丈けは其發達頗る優良なるも体軀の点に就ては種々なる缺陷があるので石城郡畜産組合では之が矯正に努めて居るが此缺陷は地形上から來るもので右缺陷矯正は容易なりと。

湯本無盡 新制度を設く

現在契約高百余十萬圓に達す

湯本信用無盡株式會社では逐年社運の隆興に連れ現在無盡契約金高壹百二十余萬圓に達し地方に於ける斯界の權威として其存在を認められてきたが今回「利益配當付無盡」の新制度を樹立し大正十六年一月元旦を期して契約を開始する筈であるが、この新制度の利益配當付無盡は毎年一月、七月の兩度加入者に配當し加入者の利益增進を計り同會社の信條である相互信用共益主義を徹底せしむるにあると。

情艶の唄

ある男

□
川の水さへ
さらさらさ
小石をなぶる
にくらしさ
切れよと云ふふら
さらりと切れて
水のながれに
このみをのせて
遠い都に
さらさらさ。

□
なさけをこめた
ふたりのふかな
西と東に泣き別れ
ほんに可愛いや
いとしふてふらぬ
いつか會ふせをたのしみに。

□
會ふてみたいや
おまへのすがた
きいて見たいや
おまへのお胸
なきのなみだで
夜をあかす。

□
可愛い可愛いと
あふときやよいが
あふて別れる
みのつらさ。

□
ほんにいとしや
おまへのふさけ
いまじやなさけも
あだにふる。
あだにしたのも
おまへのうはき
うはきこゝろに
色香をのせて
おまへざまへゆく
いろまちへ。

幽△霊△病△院△物△語△

妖術を使つて社會を惑はす曲者

平町田町元の横内醫院跡に當時誰も住むものがなく空屋となつてゐた頃

化物の住むには屈境の場所、こゝに目を着け妖術を使つて社會を惑はしてしこたま金を絞り取らんとしたのが幽霊病院の本体宇佐美友二郎といふ代物でおつた。術を使つて人を瞞着するに極めて天才的な彼は、先づ博愛といふ美名に依つて人の心を釣らんとして看板を「博愛病院」と其門口に掲げたのである、妖術はそれからそれへと施されて廣告ビラに依つて嘘八百術で

胡魔化し遂に法に觸れてバケの皮が現はれるに至つたのである、警察署に拉致され或は檢事局に召喚され妖術を喝破されて縮み上るのは普通であるが、妖術を使つて人を惑はす化物であるから蔭で赤い舌をペロリと出してセセラ笑つてゐたがこれではならぬとさすがの化物も觀念したと見えて、俺は經營者ではないと表面辭退した風を見せ懸けて裏面では頻りに妖術を研究してゐたが

博愛病院では少々世間の人から信用されなくなつた位の事は氣が着いたと見えて今度は平町實費病院と看板を塗り換へたのである、博愛と云ひ、實費と云ひ、如何にも化物が住みさうな名である、實費病院といふ衣を着た幽霊病院!!これから如何なる妖術を使ふか見ものであらう。

好成績な郵便年金

開始以來二ヶ月で加入三萬余件

遞信省の郵便年金は十月一日開始以來すこぶる好成績を示し一日平均四百件乃至五百件づゝの加入申込みを受けつゝあるが十一月卅日まで二ヶ月間の全國總數は三萬二千四百六十六件にして各遞信局別の件數は左の通り、尚は平均年金額は一件當り四十三圓九十錢である。

▲東京遞信局八、四八四件▲名古屋五、一〇六▲大阪八、六六六▲廣島二、六七五▲熊本二、七三〇▲仙臺二、四七六▲札幌一、二三四▲關東廳一、〇九五▲合計三三、四六六

マルトモの新年ゐはがき
マルトモのクリスマスカード

それはどんなに美しく奥ゆかしいか一度御覽を願ひます。
たゞ一片の紙片に過ざませんが皆樣の御交際をうるほす力は實に絶大です

新年ゐはがき、文字ハガキ、カレンダー、カルタ、トランプ、當用日記、懷中日記

マルトモ **柴田書店**
平町四丁目
電話二三四番

▲福島公論出づ

兼て渡邊周二君は東京に於て本縣人の機關紙として雜誌「福島公論」を創刊すべく計畫中であつたが愈々十二月號より發行する事になつたが、其体裁内容の充實せる点堂々たるものである。

磐中出身の
新醫博
平町字田町洋酒商金子豊吉氏の

次男金子甚藏氏は京都醫科大學に提出した小兒科に關する博士論文が去る十三日教授會を通過し醫學博士の學位を授與されることになつたが甚藏氏は磐城中學第十二回の出身で大正六年南滿醫學堂を卒業後大連病院に勤務中選拔されて一昨年十二月京都大學へ留學生として派遣され本年七月再び前記病院に歸つたものである。

明暗

□
「目にて目を償ひ、齒にて齒を償へと言へることあるは爾曹の聞きし所なり。されど我は爾曹に告げん、爾曹惡に敵することなかれ」（馬太傳第五章第卅八第三九節）

一日此等の言葉の正確單純な意味が私の心に浮んだ、私は耶蘇が彼の言つたより以上をも以下をも意味しなかつたことを會得した、私が見たのは何等の新しいものでなかつたゝ私から眞理をかくしてゐたエエルガとれて、眞理がそのすべての壯觀に於て顯はされたのである。

□
個人的生活に反對したものとして耶蘇は、墓の向ふの生命でなく、それ自身の中に過去現在及未來の人類の生命を包容するところのあの普偏的生命を我々に敎へた。猶太人の敎に從へば、個人的生命はモオゼの律法に述べられたる如き神の意志を成就することによつてのみ死から救はれる。

□
この條件に於てのみ猶太種族の生命は亡びないであらう、そして神の選ばれたる民の時代から時代へ移り行くであらう、耶蘇の敎に從へば、個人的生命は耶蘇の誡めに述べられてゐる如き神の意志の成就によつて死から救はれるこの條件に於てのみ個人的生命は亡びない。

□
人は生きてゐる、婦人と一になる、子供を產む、その爲めに思ひわづらふ、年がよる、そして死ぬる、斯くて一の時代から次ぎの時代へ過ぎて行く―生活は生活である、そして我々はそれをうまく用ひなければならぬ。

□
我々の生活は墮落し腐敗してゐる、我々が我々自らに相當してゐると思ふ本當の生活に比ぶれば單なる斷片であり、嘲笑である。

ひなたぼつこして

◆…わけもなく十五年も暮れやうとしてゐる、今年は比較的寂しさから解放された氣もちでくらした、磐城時事研究會などができて、お互に接觸を保つたけでも寂しみが慰やされる。

◆…憎む可き人もできたし、憎みより親しみを持つ人もできた、今日の友はあすの敵、今日の敵はあすの友と云つた氣もちが大變繰返された。

◆…世の中なんてつまらぬと思へばつまらぬものだし、面白いものと思へば面白いものだ

◆…また齡が一つ增ゐるわけだが、いつも若くつてゐたいものだ、若い女からチヤホヤされるだけ世間は面白いや、水ばなをたらして、腰が曲るやうになつてからは、もうお了ひだから……

◆…齡をとるたびに死ぬことを考へる、刻々と墓門に近づくわけだ、こふした氣もちになる度にもいつも虛無になる。そして心の片隅から紅い唇と緣の酒が戀しくなる。

大正十

福島縣株式會社

名	拂込額	仲	値
福島農工	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	一五、〇〇	一九、〇〇	[illegible]
百七銀行	五〇、〇〇	五三、五〇	[illegible]
同新	一五、〇〇	一四、三〇	[illegible]
福島貯蓄	一二、五〇	一五、〇〇	[illegible]
福島商銀	五〇、〇〇	五〇、〇〇	[illegible]
同新	三七、五〇	三七、〇〇	[illegible]
磐城銀行	五〇、〇〇	四五、〇〇	[illegible]
同東銀行	五〇、〇〇	四五、〇〇	[illegible]
磐越銀行	五〇、〇〇	四五、〇〇	[illegible]
四倉銀行	二、五〇	一〇、〇〇	[illegible]
三春商銀	五〇、〇〇	五〇、〇〇	[illegible]
白河商銀	五〇、〇〇	五〇、〇〇	[illegible]
本宮銀行	五〇、〇〇	五〇、〇〇	[illegible]
會津銀行	五〇、〇〇	五〇、〇〇	[illegible]
二本松銀	五〇、〇〇	五〇、〇〇	[illegible]
安達實銀	五〇、〇〇	四七、〇〇	[illegible]
郡山銀行	五〇、〇〇	五〇、〇〇	[illegible]
同新	三、五〇	一六、〇〇	[illegible]
郡山商業	二五、〇〇	二六、〇〇	[illegible]
須賀川銀	五〇、〇〇	四二、〇〇	[illegible]
川俣銀行	五〇、〇〇	三七、五〇	[illegible]
百一銀行	五〇、〇〇	四五、〇〇	[illegible]
同磐城實業	五〇、〇〇	四三、〇〇	[illegible]
小濱實銀	五〇、〇〇	四〇、〇〇	[illegible]
田島銀行	五〇、〇〇	四〇、〇〇	[illegible]
福島電燈	[illegible]	五〇、〇〇	[illegible]
同第一新	[illegible]	四〇、〇〇	[illegible]
同第二新	[illegible]	三〇、〇〇	[illegible]
會津電力	五〇、〇〇	九五、〇〇	[illegible]
郡山電氣	五〇、〇〇	五〇、〇〇	[illegible]
同新	三〇、〇〇	三三、〇〇	[illegible]
本宮電氣	五〇、〇〇	四五、〇〇	[illegible]
同第一新	[illegible]	六二、〇〇	[illegible]
同第二新	二、五〇	五七、一〇	[illegible]
二本松電	五〇、〇〇	五三、五〇	[illegible]
請戸川電	四五、〇〇	四〇、〇〇	[illegible]
新潟電氣	三〇、〇〇	四〇、〇〇	[illegible]
同新	七五、〇〇	二四、〇〇	[illegible]
植田水電	二、五〇	一六、〇〇	[illegible]
白河電燈	五〇、〇〇	四七、〇〇	[illegible]
四倉電氣	五〇、〇〇	五〇、〇〇	[illegible]
大沼電燈	五〇、〇〇	二八、〇〇	[illegible]
同新	三五、〇〇	二四、〇〇	[illegible]
桑折電氣	四二、〇〇	三〇、〇〇	[illegible]
同新	五〇、〇〇	二〇、〇〇	[illegible]
日東紡績	五〇、〇〇	三八、〇〇	[illegible]
福島羽撚重	五〇、〇〇	四五、〇〇	[illegible]
日本絹二	四五、〇〇	四五、〇〇	[illegible]
飯坂電車	三五、〇〇	二〇、〇〇	[illegible]

工業組合に運用融資

該組合發達の爲めに擔保物件の有無等を口實として融資を拒絶する狀態にある爲めに商工省當局に於ても該組合の圓滿なる發達を圖る爲めに其運事情があつて今日に至つたが工業組合に對しても產業組合の如く工業組合を單獨融資機關とし拘らず、貸出利率は日銀利下とともに十月初旬以來五毛乃至一響は輕微である、然るに今期は預金利率には何等變更ないにもル放出銀行にあつては前期中高率を維持した月は四月及び六月に過ぎなかつたが、今期は八、社債の市價は前期末に比し幾分の昂騰となつてゐるから賣却益若しくは評價益は前期より增加し結局今期成績は前期と大差なし。

工業組合に運用融資

該組合發達の爲めに

商工省は昨年九月重要輸出品工業組合法施行以來舊法に依る工業組合は既に認可せられたるもの二十二、申請中のもの八、聽き届け中のもの十一の多數に上り今後益々發達するやうであるが、之に伴ひ組合の資金融通に付いて興銀及び勸銀を通じて融資の途が講ぜられて居るが實際に於ては該組合は小資本家の集合なる爲めに兩銀行は定款變更の擔保物件の有無等を口實として融資を拒絕する狀態にある爲めに商工省當局に於ても該組合の圓滿なる發達を圖る爲めに其運用資金を充分ならしむるやう考究し昨年農林省で成立せしめた産業組合中央金庫より融資せしむべく計劃されたが種々困難な事情があつて今日に至つたが工業組合に對しても産業組合の如く工業組合を單獨融資機關として中央金庫より貸出しの機運が擡頭し來たので目下是が考究中であるが組合の發達に伴ひ運用資金も多額に上る今日案外早く具体化するものと思はる。

今期の銀行成績

前期と大差は無い

金利低下時代には大体銀行業績の減退を免れぬが、たとひ金利低下期であつても貸出利率と預金利率と平衡する場合はその影響は輕微である、然るに今期は預金利率には何等變更ないにも拘らず、貸出利率は日銀利下と共に十月初旬以來五毛乃至一厘方の低落となり上期中一流手形と稱するものが一錢九厘乃至二錢であつたがこれが十月以降は最低一錢八厘まで下つた、しかし最近は年末關係から一錢九厘乃至二錢に昂騰したが、大体下期の半期間は前期に比し五毛乃至一錢方の低下となつてゐる故にこの点から觀察する限り今期利益は幾分の減退を免れぬのであるが、一流銀行その他コール放出銀行にあつては前期中高率を維持した月は四月及び六月に過ぎなかつたが、今期は八、十、十二月等高率を維持するのみならず今期中を通じて長期物は一錢九厘乃至二錢唱へてあつたゝめコール放出による收益は前期以上となる、更に例年上期よりは下期の方が資金の需要が多いのは生糸資金等に見るも明かで、殊に本年は回收額が例年より少ないから帳簿上の利益は増加することゝなる、この外公社債の市價は前期末に比し幾分の昂騰となつてゐるから賣却益若しくは評價益は前期より増加し結局今期成績は前期と大差ないことゝならうと。

談―論―風―發

□湯本町後期縣税戸數割賦課審議未了で問題となる。

□火災だから止むを得ざるものであるとしても、高木町長の責任は免れまい。

□理事者としてこの男位責任を背負ねばならぬ者も尠かる可し。

□宛然責任の引受所か、問屋に等し。

□小田炭礦の爭議は、坑夫側の小田礦の現狀に對する理解と炭礦側の容認とに依りて圓滿に解決した。

□小田礦爭議の解決は、地方勞働爭議の先例を造るものとしてはづかしからず。

石城政情裡に

動く人々と

動かさるゝ人（二）

×

吾日本の政界は今其吐息を中絶し、停頓した形である。

聖上陛下の御不例に依り日本の政情は將に吐息のゆなみがある、議會解散も遂に豫想の圈外に放り出された。

記者が、かくしてペンを持つ折柄　聖上の御病態を報ずる新聞號外、ラヂオは赤子の一人である記者の心胸に怪しくも暗い蔭と、鉛のやうな重苦るしい壓しられるやうな一種の感情が湧いてくる、風もなく冬の日脚にも深い靜けさがある、天地自然も亦　聖上の御平癒を祈るかの如くに思はれた日、本縣掉尾の縣會は將に其幕が閉ぢられた、かくて本縣否石城の政情にも其吐息の中絶を見る。

×

閑話休題、再び石城政情裡に動く人々、動かさるゝ人々を瞥見する事にしよう。

×

金力があり、体力があり、能力がある位、人間としての幸福はあるまい、この三力を兼ね備へたる二人の若者を發見する記者は、石城の政界に花咲く秋近きにあるべしとはゝ笑む事も亦無駄ではないであらう。其二人の若者とは……小野晋平さんと古川傳一さんだ。

×

海洋を人間の力に依りて征服すべく雄々しくも小名濱の海岸であの廣莫とした太平洋をハットにらんだ小野さんの眼には、遂に磐城水産工業株式會社を生んだのである、縣議としては初舞臺ではあるが、常に政情の表裏に起つてゐる小野さん、縣會あたりの呼吸や縣け引は、オチヤノコサイサイ、先づ縣議位では物足りないには相違ない、縣議なんかになるに、一萬二萬の金をプチ撒くなら中央の議政壇上に足跡をのこす方が政治家としての面目がある位のことは考へてゐるだらう、小野さんの頭の新しいことゝ、讀書家であることは、今に始まつたことではないが、近來讀書趣味の向上したことは、小野さんの思想に一つの革命を持ちきたすに相違ない、馬車の中汽車の中でも常に一冊の本を放したことが無い、それが何れも思想的な内容的な本である……頭ができるばかり……金力あり、体力あり、本郡選出の代議士として中央政界に馳驅するの遠きにあらずと思ふのであります……一寸演說句調にもなつて見たくなる。

×

却説次に控へたのは植田の古川傳一さんだ、元來この人思想家として藝術家としての天分のひらめきがある、小野さんの讀書家と相並んで古川さんも讀書癖のある人である、洋書の觀賞眼も決して素人ではない、家業と環境をゆるすならば、アトリエの一室を設けて繪筆をノタクリ廻す位の慾望はある、左樣に藝術的、文學的な一面を多分に持つてゐるが、古川さんの体を見ると精悍其ものゝ樣な体力の所有者である、思想方面に頭が出來てゐる人たゞけに政治なんか眼中に置かなかつたであらうが、一度び縣政壇上に起つや、政治家としての味が出てきた風だから、將來新しき政治家として縣會に、或は國會に馬首を進める位の肚はあるだらう。

×

一時閑棲に日を送つてゐた佐藤庄太郎さん、返り咲きの秋が來たと見ねて本縣政友支部幹事長の椅子に再び就く事になつたが政治家としては古い型だが、戰術は必ずしも思想の古い新しいのには關係が無い、むしろ選擧の際に戰術を施すには所謂政治屋と言つた人々には一種の腕があるものである、この戰術に懸けては佐藤さんなか〳〵の强者なのだ、そうだ、さきに縣會にたつこち、國會にたつこち不運續き、それに幹事長の要職より離れて一時政界を隱退した形だつたが、再び乘り出した以上、一度は縣會か、國會には出たいものだ、自ら動かざれば動かして出してやるサ。

×

動かされて遂に縣政の壇上に起つた草野順平さんは、政治家としての苦味を味つたに相違ない、なぜなら……政治家として馳驅するには草野さんは余りに純眞だから……經濟人としては、それは勿論、强ものには違ひない、經濟人として隅に置けない冴ねた腕があつても政治家として必ずしも竦腕ではない、しかし一度政界の呼吸をのみこみ、政情の空氣に觸れて見ると決して厭な氣もちではない……こゝ書くと記者などは天晴れ經驗のもつ政治家らしく見ねるが政治家になつた氣もちで觀察して見ると左樣なものである今後草野さんは自ら動いて政界に乘り出すかどふかは甚だ疑問とする所であるが、草野さんは新人である、思想もある政策もある、殊には經濟人である、今後の民衆の代辯者として政治家として最も適人である、一度縣議として政治家としてのハシクレになつた以上自ら動かなくとも、動かさるゝ時代が來るであらう。

×

若者にして動かなくとも動かされる人は吉田正雄さんだ、小學校時代に記者は學友として鬼ごつこして遊んだあどけない時から議論一つ、喧嘩一つしたことのない、左樣に圓滿な性格をもつた吉田さんだ既に今江名町會議員として鄕黨より尊敬されてゐる、中山町長……若者に似合はせぬ偉い所がある……と感嘆してゐる、文藝に、思想に、政治に經濟に、タツプリとした理解をもつてゐる、來る可き縣議戰には自ら動かなくも、結局動かされて起つかも知れぬ。

×

少し合ひの手を入れて平の操觚界を瞥見しよう。

×

福島だつて、郡山だつて、若松だつて、新聞記者の一人や二人は市會議員か、町會議員かにはなつてゐる、平の同業者には嘗て一人もなかつた、少々なさけない、人物が無いのだと言へばそれまでだが、俗息紛々たる政治家たるよりも無冠の帝王……とズツト超越した氣もちでゐるから、政治家の眞似事なんか眼中にないと言へば、そうも言はれる……が……一人や二人はあつてもわるくない、操觚界に關係するもので將來政治家の眞似事位は出來ささうに思はれるのは、あれで佐藤作平さんや、大和田與平さん、町會位に出れば當選の可能性あるのは山田磐麿さん……大和田さんなぞも政治家としての素質はあるし、政策も戰術も知つてゐる、時機至らばやつて見ようとする位の考へはある、佐藤さんは兎に角町會に出た經驗はあるし充分の準備と戰術を意得したら政治家として蓋し適人だらう、山田さんは自ら動かない、動かされて起つならばやつて見ようの覺悟は持つかも知れない、しかし、ドチラを見ても金の持つてゐる人も無ささうだ、斯に於て背景を持つ事の必要になつてくる、花柳界には旦那のもつことは、イト易い事だそうだが、平の新聞記者にはこの旦那をもつことが出來ないのでは無い、旦那になる樣な人柄がないのだ。（續）

政治、經濟に關する投書を募る。

磐城經濟新報社

福島縣株式會社
株名　拂込額　仲値
福島農工銀行　15,00　19,00
同新　15,00　19,00
百七銀行　50,00　53,50
同新　15,00　14,30
福島貯蓄銀行　3,50　15,00
福島商銀　50,00　50,00
同新　50,00　37,50
磐城銀行　50,00　50,00
磐東銀行　50,00　50,00
磐越銀行　50,00　37,50
四倉銀行　23,50　10,00
三春商業銀行　50,00　50,00
白河商銀　50,00　50,00
本宮銀行　50,00　50,00
會津銀行　50,00　50,00
二本松銀行　50,00　50,00
安達實業銀行　50,00　45,00
郡山銀行　50,00　50,00
同新　23,50　16,00
郡山商業　25,00　26,00
須賀川銀行　50,00　42,50
川俣銀行　50,00　37,50
百一銀行　50,00　45,00
磐城實業　50,00　45,00
同小濱實業銀行　50,00　40,00
田島銀行　50,00　40,00
福島電燈　50,00　50,00
同新　50,00　40,00
同第一　50,00　30,00
同第二新　50,00　30,00
本宮電氣　50,00　25,00
會津電力　50,00　30,00
郡山電氣新　50,00　62,00
同　50,00　50,00
同第二新　50,00　57,10
二本松電　50,00　53,50
請戸川電　50,00　40,00
新潟電氣　30,00　40,00
同新　17,50　20,00
植田水電　12,50　16,00
白河電燈　50,00　40,00
四倉電氣　50,00　50,00
大沼電燈　50,00　50,00
同新　25,00　24,00
桑折電氣　50,00　42,00
同　50,00　30,00
東洋紡績　50,00　20,00
福島羽擦重　50,00　36,00
日本絹二　45,00　24,00
飯坂電車　35,00　20,00

五號
福島縣株式會社
株名　拂込額　仲値
福島農工銀行　15,00　19,00
同新　15,00　19,00
百七銀行　50,00　53,50
同新　15,00　14,30
福島貯蓄銀行　3,50　15,00
福島商銀　50,00　50,00
同新　50,00　37,50
磐城銀行　50,00　50,00
磐東銀行　50,00　50,00
磐越銀行　50,00　37,50
四倉銀行　23,50　10,00
三春商業銀行　50,00　50,00
白河商銀　50,00　50,00
本宮銀行　50,00　50,00
會津銀行　50,00　50,00
二本松銀行　50,00　50,00
安達實業銀行　50,00　45,00
郡山銀行　50,00　50,00
同新　23,50　16,00
郡山商業　25,00　26,00
須賀川銀行　50,00　42,50
川俣銀行　50,00　37,50
百一銀行　50,00　45,00
磐城實業　50,00　45,00
同小濱實業銀行　50,00　40,00
田島銀行　50,00　40,00
福島電燈　50,00　50,00
同新　50,00　40,00
同第一　50,00　30,00
同第二新　50,00　30,00
本宮電氣　50,00　25,00
會津電力　50,00　30,00
郡山電氣新　50,00　62,00
同　50,00　50,00
同第二新　50,00　57,10
二本松電　50,00　53,50
請戸川電　50,00　40,00
新潟電氣　30,00　40,00
同新　17,50　20,00
植田水電　12,50　16,00
白河電燈　50,00　40,00
四倉電氣　50,00　50,00
大沼電燈　50,00　50,00
同新　25,00　24,00
桑折電氣　50,00　42,00
同　50,00　30,00
東洋紡績　50,00　20,00
福島羽擦重　50,00　36,00
日本絹二　45,00　24,00
飯坂電車　35,00　20,00

開始以來二ケ月で
加入三萬余件
遞信省の郵便年金は十月一日開
新醫博
平町字田町洋酒商金子豐吉氏の

磐城共濟病院

電話 六四一番

■内科
院長兼部長 醫學博士 菊地泰助
副部長 醫學士 松野松治

■外科
部長 醫學士 野田宏
顧問 醫學博士 松永琢磨

■衛生試驗所（理化學的檢査）
主任 醫學博士 菊地泰助
技師 和田宇市

■藥局
藥劑師 吉本孝平
病院主事 賀澤忠治

■良品廉賣に勝る商略なし!!!
磐城セメント會社特約店
和洋銅鐵金物問屋
㊏ 釜屋商店
磐城平 電話九一三九番
確實敏捷は㊏の生命なり!!!

醬油と味噌
山崎合名會社
福島縣平町
電話（營業部專用一〇番 一般用二七番）
振替東京一九七五五番
東京支店
上野車坂四三
電話 下谷五七一二番
振替東京六八三一二番

和洋家具 飾棚簞笥
磐城平研町
鈴木勝彌

平町搔槌小路一二六
材木商 吉田廣三郎 商店
電話六五九番

大阪市西區靱下通貳ノ卅一
佐川潔法律事務所
辯護士 法學士 佐川潔
電話土佐堀四八五三

内科 小兒科 花柳病科 （入院應需）
藤沼醫院
平町紺屋町
電話平長五〇七番

富國徵兵保險相互會社
植田事務取扱所
醬油味噌 洋酒罐詰
大平喜治商店
植田町（電話七一番）

平町三丁目
佐川洋服店營業部
電話四一八番
平町南町通り
佐川洋服本店
電話（呼）二六九番

◎生活改善
◎冗費節約
貸衣裳（カシキモノ）
古着 電話三一六番
銀冶町
荷衣裳屋店

清光堂分店
電話三一五番
新年號各種雜誌は勿論十六年度博文館日記各種
新年ゐはがき、年賀用文字はがき數十種全部揃ひました

貸家廣告
仲間町 勤人向 12円
同 同 7円
北白銀町 商店向 10円
一、内郷村小島紳士向住宅 物置風呂場附 4円
停車場前旅館 水道造作風呂附 一ヶ月金百圓
同町 食堂 金三十五圓
加藤營業所
白銀町（電話三二番）

平町南町七七
山野邊義政法律事務所
電話六二五番

漆器の御用なら
平町一丁目
和久井屋漆器店
電話四〇五番

平町字田町
高久病院
電話五一三番
院長 醫學士 高久忠
副院長 新潟醫學士 赤羽清
藥局長 藥劑士 佐竹菊雄
第二病室增設—入院隨時

第貳拾六期
貸借對照表

貸方		借方	
資本金	五〇〇、〇〇〇円〇〇〇	未拂込株金	三三七、五〇〇・〇〇〇
諸積立金	二二、七三〇・〇〇〇	土地建物	七、四五一・二七〇
社員職工積立金	一、三〇九・一〇〇	機械	一、七五〇・〇〇〇
假預リ金	六五二・六〇〇	配電線路及器具	一九八、六七〇・二一〇
掛買金	五、六〇八・四三〇	家具並什器	五、〇五一・三一〇
借入金	四〇、〇〇〇・〇〇〇	倉庫	九、五一八・七七〇
前期繰越金	二、六八八・一六〇	假拂金	一、三六三・九二〇
當期利益金	一六、七一一・八一〇	掛金	一、〇六九・八〇〇
合計	五九七、九一〇・一〇〇	未收入金	三、〇三七・六七〇
		有價證券	一〇〇・〇〇〇
		受取手形	一、一二七・〇〇〇
		未經過保險料	五〇三・四五〇
		預ケ金及金銀	二〇、七六五・六九〇
		合計	五九七、九一〇・一〇〇

大正十五年十一月三十日
四倉電氣株式會社
取締役社長 新妻盛

平町關の上
強口吳服店
電話四〇一番

◇製綿工場併設
第一工場新築落成
平町研町
吉村製綿店
店主 吉村安次郎
電話二五七番

(大正十二年七月十七日 第三種郵便物認可)
發行日五日、廿日(二回)
編輯兼印刷人 鈴木昌雄
發行人 福島縣石城郡平町材木町卅二番地

東染の權威
京都市岡崎北御所町
京染齋店

新聞の新聞 (二十)

時總會の決議、官廳から許可になつた事項等あらゆる重要な記事を記載し、次で會計の狀態を表示してゐるのが普通の形式で

君の立場からそうすることの賢明であることを思ふ、鄉土の爲め一働きしてほしい。

無い、社會に理解がないのだ